

第31回 お母さんと 子どもの元気セミナー 虐待から子どもを守る

日時：7月10日(水) 13:30～
15:30

会場：セミナールーム 茅場町
Co-Edo 3F 会議室(東京都中央区)

対象：保健師、助産師、看護師、
保育士、教諭、臨床心理士、カウ
ンセラーなど

プログラム：

講義 ①『「児童虐待」とは?』/
②「虐待の世代間伝達」/③「虐
待が子どもにおよぼす影響」/④
「虐待する親の心理」/質疑応答

講師：酒井道子(公認心理師、慶
應義塾大学病院小児科精神保健
班、NPO 法人らんふあんぷらざ、
フォーレ・カウンセリングセンター)

定員：70名

参加費：5000円(税別)

申込方法：①WEBでの申込の場
合は、下記ホームページにアクセ
ス。②FAX・郵送での申込の場合
は、受講申込書をダウンロードし、
記入の上、送付。

[HP](http://www.jfpa.or.jp/) <http://www.jfpa.or.jp/>

問い合わせ先：一般社団法人日本
家族計画協会 研修担当

〒162-0843 東京都新宿区市
谷田町1-10 保健会館新館

☎ 03-3269-4785

FAX 03-3267-2658

第4, 5回性の多様性を 学ぶセミナー—LGBTの 理解と現場での支援のあり方

日時：7月20日(土) [第4回],
11月9日(土) [第5回]

会場：東陽セントラルビル 2F ホール
(東京都江東区) [第4回], 北海道

建設会館(札幌市中央区) [第5回]

対象：保健師、助産師、看護師、
看護教員、養護教諭、教諭、医師、
保育士、薬剤師、児童相談員、企
業の人事・総務担当者など

プログラム：

講義①「LGBT/性的マイノリティ
とは?」/②「セクシュアリティの
分類」/③「日本ではどうなってい
るのか?」/④「国連や国際機関で
の主な動き」/⑤「LGBTの健康に
関わる問題」/⑥「教育現場・職
場の環境」/⑦「HIV 感染対策、
エイズ予防教育」/⑧「カミングア
ウトしやすい環境の整備」/⑨「教
材の使い方解説」(第4回、第5
回とも基本的なプログラムは同様)

講師：日高庸晴(宝塚大学看護学
部教授/厚生労働省エイズ動向委
員会委員/日本思春期学会理事)

定員：各100名

参加費：各1万円(税別)

申込方法：①WEBでの申込の場
合は、下記ホームページにアクセ
ス。②FAX・郵送での申込の場合
は、受講申込書をダウンロードし、
記入の上、送付。

[HP](http://www.jfpa.or.jp/) <http://www.jfpa.or.jp/>

問い合わせ先：一般社団法人日本
家族計画協会 研修担当

〒162-0843 東京都新宿区市
谷田町1-10 保健会館新館

☎ 03-3269-4785

FAX 03-3267-2658

第18回生きるための心の 教育セミナー(ベーシック編)

日時：7月27日(土)

会場：全水道会館 4階(東京都文
京区)

対象：保健師、助産師、看護師、
養護教諭、教職員、看護教員、医

師、薬剤師など

プログラム：

講義①「思春期の性=生」渡會睦
子(東京医療保健大学医療保健学
部看護学科教授)/講義②「性教
育に効果的な教材の活用と指導の
ポイント」渡會睦子/事例紹介「紙
芝居型性教育教材の制作と実践事
例」児童養護施設指導者(予定)

定員：100名

参加費：1万円(税別)、思春期保
健相談士 8000円(税別)

申込方法：①WEBでの申込の場
合は、下記ホームページにアクセ
ス。②FAX・郵送での申込の場合
は、受講申込書をダウンロードし、
記入の上、送付。

[HP](http://www.jfpa.or.jp/) <http://www.jfpa.or.jp/>

問い合わせ先：一般社団法人日本
家族計画協会 研修担当

〒162-0843 東京都新宿区市
谷田町1-10 保健会館新館

☎ 03-3269-4785

FAX 03-3267-2658

第104回受胎調節 実地指導員認定講習会

日程：7月29日(月)～8月2日(金)

会場：フォーラムミカサ エコ7階
ホール(東京都千代田区)

対象：保健師、助産師、看護師

プログラム：

【1日目】「家族計画の目的と運動
史」北村邦夫(一般社団法人日本家
族計画協会理事長/家族計画研究
センター所長)/「リプロダクティブ・
ヘルス/ライツ」勝部まゆみ(公益財
団法人ジョイセフ事務局長)/「性感
感染症、実習1」堀成美(国立研究開
発法人国立国際医療研究センター感
染症対策専門職)/「グループ討議」

【2日目】「避妊法総論Ⅰ・Ⅱ」北

村邦夫／「妊娠の成立・受精・受胎、実習2」佐藤孝道（武久レディースクリニック顧問）／「不妊、実習3」佐藤孝道

【3日目】「出生前遺伝学診断の今日的課題」吉村恭典（内閣官房参与／慶應義塾大学名誉教授）／「セクシュアリティー男女の性、実習4」大川玲子（日本性科学会理事長）／「避妊法各論—IUD・ピル・不妊手術他、実習5」寺内公一（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授）／「人工妊娠中絶、実習6」丸本百合子（百合レディースクリニック院長）

【4日目】「避妊法各論—バリア法、実習7」齋藤益子（東京医療保健大学大学院看護学研究科教授）／「母体保護法と関連法規」三橋裕行（一般社団法人日本家族計画協会理事）／試験／「GATHER法を使った避妊指導」杉村由香理（一般社団法人日本家族計画協会／家族計画研究センター部長）／「クリニックの実際と避妊指導、実習8」日本家族計画協会クリニック相談員

【5日目】「解答と説明、実習9、まとめ」北村邦夫

定員：50名

参加費：5万円（税別）

申込方法：①WEBでの申込の場合は、下記ホームページにアクセス。②FAX・郵送での申込の場合は、受講申込書をダウンロードし、記入の上、送付。

☎ <http://www.jfpa.or.jp/>

問い合わせ先：一般社団法人日本家族計画協会 研修担当

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館

☎ 03-3269-4785

FAX 03-3267-2658

第28回母乳育児シンポジウム

日程：8月3日（土）～4日（日）

会場：カナモトホール（札幌市民ホール）（札幌市中央区）

テーマ：みんなで学び、未来に繋ごう、そだね！

プログラム：

【8月3日（土）】基調講演1「改定2018母乳育児成功のための10カ条およびBFH認定方式について」永山善久（日本母乳の会）／基調講演2「授乳・離乳の支援ガイド（2019年改定版）について」／シンポジウムI「あらためて母乳育児成功のための10カ条を考える」長瀬敦子（岐阜県総合医療センター）、秋山奈織美（国立病院機構九州医療センター）、石倉おり（旭川医科大学病院）、君塚基修（札幌医科大学附属病院）、畠山知子（ベルランド総合病院）／教育講演「母乳育児とビタミンDを考える（仮）」棚橋祐典（旭川医科大学小児科学講座講師）

【8月4日（日）】シンポジウムII「お母さん・赤ちゃんとのコミュニケーションを学ぼう」嘉村早苗（JA旭川厚生病院）、柏木智則（北見赤十字病院）、木村由里（横浜市立大学附属市民総合医療センター）、立花幸晃（愛成病院）、岡本ゆかり（国立病院機構岡山医療センター）／特別講演（市民公開講座）「アイヌ文化の世界観と育児」本田優子（札幌大学歴史文化専攻教授）／シンポジウムIII（市民公開講座）「母乳育児支援のつながり、広がり」小野方正（名寄市立総合病院）、澤野留美子（北見赤十字病院）、中村由香里（前 公立芽室病院）、沖野

まゆみ（国立病院機構仙台医療センター）、白井みゆき（NPO子育て応援かざぐるま）

参加費：会員1万円、未会員1万2000円、学生3000円、母親・父親（医療者、専門家、有資格者以外）3000円、懇親会費6000円

※1日だけの参加の場合も参加費は同額

※保育あり。詳細は下記ホームページより。

申込方法：下記ホームページから書式をダウンロードし、記入の上、①FAX・郵送での申込の場合は、下記事務局まで、②メールでの申込の場合は下記メールアドレスに送信。

☎ <http://www.bonyu.or.jp>

✉ moushikomi@bonyu.or.jp

問い合わせ先：一般社団法人日本母乳の会事務局

〒165-0026 東京都中野区新井3-9-4

☎ 03-5318-7383

FAX 03-5318-7384

✉ sympo@bonyu.or.jp

日本小児看護学会第29回学術集会

日程：8月3日（土）～4日（日）

会場：ロイトン札幌（札幌市中央区）

テーマ：小児看護の知を国際支援へ

プログラム：

【8月3日（土）】会長講演「小児看護の知を国際連携へ」松浦和代（札幌市立大学看護学部教授）／教育講演1「子どもの発達を世界の実情からみつめる」川田学（北海道大学大学院教育学研究院准教授）／教育講演2「看護の国際連携から国際連携へ」スーディ神崎和代（いわき明星大学看護学部教授）／

シンポジウム「国際支援を通じて結実する小児看護の知—日本—モンゴル発育性股関節脱臼予防プロジェクトから」城戸真紗美(市立札幌病院看護師), プレブタヴァ(モンゴル国立母子健康センター看護部長), ビャンバー(ザブハン県立総合病院看護部長), 安齋利典(札幌市立大学デザイン学部教授)

【8月4日(日)】

特別講演「伝えるのは命・つながるのは命」坂東元(旭山動物園園長)／市民公開講座(患者会コラボ企画)「ダウン症児のためのダンススクール: ビジョントーク&パフォーマンス」牧野アンナ(北海道ラブリジャンクス)

参加費: [当日参加] 会員 1 万 2000 円, 非会員 1 万 4000 円, 学生 3000 円, 懇親会費 5500 円 ※学生は大学院生や認定教育課程の研修生を除く

問い合わせ先: 運営事務局

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11-4 大通藤井ビル 5 階 503(プロコムインターナショナル 札幌支店内)

☎ 011-272-5234

FAX 011-272-5235

✉ jschn29@procomu.jp

HP <http://procomu.jp/jschn2019/index.html>

2019 年度京都橘大学 看護リカレント講座 (第 2 回～第 5 回)

日時: 8 月 6 日(火), 9 月 3 日(火), 10 月 1 日(火), 11 月 5 日(火) 各回 18:10～19:30

会場: キャンパスプラザ京都(京都市下京区)

対象: 看護職者, 介護職者, 医療

関係者(学生可)

テーマ: 高めよう実践力!—看護実践の中で直面するジレンマへの対応

内容:

- 第 2 回(8/6)「病院現場で生じるジレンマ PART1」鹿島秀明(医誠会病院, 急性重症患者看護専門看護師), 光岡由紀子(滋賀医科大学医学部附属病院, リエゾン精神看護専門看護師)
- 第 3 回(9/3)「病院現場で生じるジレンマ PART2」藤野崇(近畿大学医学部附属病院, 家族支援専門看護師), 前田一枝(京都市立病院, 母性看護専門看護師)
- 第 4 回(10/1)「地域医療現場で生じるジレンマ」谷口智恵己(よつば訪問看護ステーション所長), 向美保(看護小規模多機能型居宅介護友愛の家ヴォーリス管理者)
- 第 5 回(11/5)「緩和ケアに関する倫理的課題」田村恵子(京都大学大学院医学研究科教授)

定員: 各回 100 名(先着順)

参加費: 各回 1000 円, 5 回一括の場合 4000 円(いずれも税込)

申込方法: 下記ホームページの申込フォームまたは, 電話, FAX, E-mail で受付。「看護リカレント講座」と明記の上, ①受講希望日, ②氏名(漢字・ふりがな), ③住所, ④電話番号, ⑤ E-mail アドレス, ⑥勤務先を記入の上申し込む

申込・問い合わせ先: 京都橘大学エクステンションセンター(学術振興課)

〒607-8175 京都府京都市山科区大宅山田町 34

☎ 075-574-4186(直通)

FAX 075-574-4149

✉ aca-ext@tachibana-u.ac.jp

HP [https://www.tachibana-u.ac.jp](https://www.tachibana-u.ac.jp/research_area/recurrent/2019/03/2019-8.html)

[jp/research_area/recurrent/2019/03/2019-8.html](http://research_area/recurrent/2019/03/2019-8.html)

日本看護教育学会 第 29 回学術集会

日時: 8 月 24 日(土) 10:00～16:40

会場: 群馬会館(群馬県前橋市)

テーマ: 実践と研究の循環とその成果

プログラム: 基調講演「ライフワークとしての看護教育学研究」山下暢子(群馬県立県民健康科学大学)／シンポジウム「実践と研究の循環—質の高い看護・教育をめざして」中山登志子(千葉大学), 伊藤真理(日鋼記念看護学校), 飛世真理子(千葉大学), 相楽有美(横浜市立市民病院)／演題発表および研究批評

参加費: 一般 8000 円, 学生(大学院生を除く) 3000 円, 懇親会 5000 円

申込方法: 下記学会ホームページより

HP <http://jasne.umin.jp/29thprogram.html>

申込締切: 7 月 24 日(水) (申込, 振込締切)

※定員になり次第締切。定員に満たない場合, 当日受付あり。

問い合わせ先: 日本看護教育学会第 29 回学術集会事務局

〒371-0052 群馬県前橋市上沖町 323-1(群馬県立県民健康科学大学内)

✉ jasne_29@yahoo.co.jp

ナーシングマッサージ研修会

日程: 8 月 24 日(土)～25 日(日)

会場: 埼玉県立大学(埼玉県越谷市)

内容：指圧マッサージの基礎理論／指圧マッサージの基本手技(実践に近い状況設定での演習)

※ 2 日間のコース修了時に修了証を発行

※テキスト『ナーシングマッサージ入門』(日本看護協会出版会)

参加費：2 万 5000 円(テキスト代, 他教材費込み), 学部生 1 万 4000 円(テキスト代, 他教材費込み), 修了者 1 万 2000 円(テキストは付かない)

定員：25 名程度(最少催行人数 12 名)

対象：看護職かつ臨床実務者で患者への適用を考えている人, 2 日間参加できる人

申込締切：8 月 2 日(金)まで

問い合わせ先：研究会事務局：柳(群馬大学医学部保健学科)

✉ natsuy@health.gunma-u.ac.jp
☎ 027-220-8981

🌐 <http://kango-massage.kenkyuukai.jp/special/?id=19532>

<https://ja-jp.facebook.com/553832651350872/>

第 34 回日本母乳哺育学会 学術集会

日程：9 月 14 日(土)～15 日(日)

会場：岡山県医師会館三木記念ホール(岡山市北区)

テーマ：次世代・未来につなぐ母乳育児

プログラム：

特別講演「周産期メンタルヘルスの現状と課題」岡野禎治(前日本周産期メンタルヘルス学会理事長, 三重大学名誉教授)／「母乳育児・次世代へつなぐメッセージ」橋本武夫(社会福祉法人若楠副理事長)／「母乳育児と親子の関係性の危機」

堀内勤(聖マリアンナ医科大学名誉教授)／教育講演「母親からみた母乳哺育の科学的エビデンス」多田克彦(国立病院機構岡山医療センター産婦人科診療部長), 「母乳育児に関する疫学研究をどのように解釈するか」頼藤貴志(岡山大学大学院環境生命科学研究科生命環境学専攻人間生態学講座准教授), 「新生児黄疸と哺乳」安田真之(香川大学総合周産期母子医療センター小児科講師), 「新生児低血糖症の病態生理」河井昌彦(京都大学小児科・新生児集中治療部病院教授)／シンポジウム 1「どこまでできる? 周産期メンタルヘルスケア」／シンポジウム 2「次世代へ母乳育児を伝えるアプローチ」

参加費：会員 1 万円, 非会員 1 万 2000 円, 学生無料(学生証を提示すること), 懇親会参加費 5000 円

申込方法：後日, 下記ホームページで案内

🌐 <https://www.bonyu34.com/blank-3>

問い合わせ先：医療法人サン・クリニック(学会事務局)

〒703-8205 岡山県岡山市中区中井 2-15-13

☎ 086-275-3366

☎ 086-275-3663

✉ bonyu34@suncclinic.org

第 17 回日本生殖看護学会 学術集会

日時：9 月 15 日(日)9:30～17:00

会場：聖路加国際大学本館(東京都中央区)

テーマ：躍進する生殖看護—不妊治療からその先の妊娠・出産・育

児へ

プログラム：会長講演「不妊治療から妊娠・出産・育児期の継続的支援」坂上明子(武蔵野大学看護学部教授)／教育講演「超高齢出産・育児を多職種で支える」森恵美(千葉大学大学院看護学研究科教授)／ランチョンセミナー①「生殖医療の最前線：こころとからだに寄りそう不育症治療とケア」尾崎康彦(名古屋市立大学大学院医学研究科高度医療教育研究センター教授)／②「生殖医療の最前線：子宮移植の現在と未来」木須伊織(慶應義塾大学医学部産婦人科学教室特任助教)／シンポジウム「不妊治療後の妊娠・出産・育児を支える」白井千晶(静岡大学大学院人文社会科学部研究科教授), 長瀬彩子(聖路加国際病院相談・支援センター, ソーシャルワーカー), 勝又由美(東邦大学医療センター佐倉病院, 不妊症看護認定看護師), 福井良子(NPO 法人 Fine 公認ピア・カウンセラー)

参加費：[事前登録] 会員 5000 円, 非会員 6000 円, 学生 1000 円, [当日参加] 会員 6000 円, 非会員 7000 円, 学生 2000 円
※学生は大学院生・研修生を除く

申込方法：下記ホームページの申込フォームより

事前参加申込締切：8 月 9 日(金)
※振込期日 8 月 16 日(金)

問い合わせ先：第 17 回日本生殖看護学会学術集会事務局

〒202-8585 東京都西東京市新町 1-1-20(武蔵野大学看護学部母性看護学領域内)

☎ & ☎ 042-468-3336

✉ office@jsfn17.com

🌐 <https://www.jsfn17.jp/>